

# いなだ地区 社協 だより

第 30 号  
2019年3月1日

発行：稲田地区社会福祉協議会  
発行人：大津 努  
編集：総務企画部  
事務局：多摩区社会福祉協議会  
住所：川崎市多摩区登戸1763  
ライフガーデン向ヶ丘2階  
TEL. 044-932-5500

## 稲田地区社会福祉協議会 創立30周年に寄せて

稲田地区社会福祉協議会  
会長 大津 努

稲田地区社会福祉協議会は、  
1958年(昭和33年)に登戸中野  
島、そして宿河原堰長尾地区で  
発足、1988年(平成元年)に第三  
地区社協に分割し、今日に至っております。



当地区社協は8つの町会自治会で構成され、6  
つの部会委員会が活動しております。「社会を明  
るくする運動」「地域福祉のつどい」等、役員部  
会員はじめ、地域住民皆様と協働して幅広く活動  
して頂いておりますこと、誠に同慶の至りで厚  
く深く感謝しております。

新しい元号の年が始まり、皆様と共に、明るく  
安全安心の地域づくりに努めてまいりたいと思料  
しております。

稲田地区社会福祉協議会は、川崎市、更には多  
摩区社協の活動方針のもと、老人会、子ども会他  
諸団体とも連携を深め、日々の活動に精進してま  
いる所存ですが、住民の皆様のご理解ご協力を心  
からお願い申し上げます。

## 創立30周年に寄せて

社会福祉法人  
川崎市多摩区社会福祉協議会  
会長 田村 弘志

稲田地区社会福祉協議会が、  
創立30周年を迎えられました  
ことを、心からお慶び申し上げ  
ます。



年々地域社会のありようは変化  
しており、地域福祉の問題もより複雑化、多様化  
しています。その中で、誰もが安心して暮らせる  
まちづくりを進めるためには、地域のニーズに合  
ったより身近な地域福祉活動が求められています。  
本会では、地域福祉活動計画において、多世代交  
流の場づくりや関係機関との更なる連携などを計  
画として掲げていますが、これらの取り組みは、  
稲田地区社会福祉協議会をはじめ様々な団体機関  
の皆様のご理解によるものと強く感じております。  
稲田地区社会福祉協議会におかれましては、平成  
元年の登戸地区社会福祉協議会との分割を経て、  
時代の地域福祉の動きをふまえた様々な事業展開  
に取り組んでこられました。30周年という記念の  
年を迎えられましたことは、皆さまが日頃から地  
域福祉の推進にたゆまぬ努力を続けてこられた賜  
物であると深く敬意を表します。

結びに、稲田地区社会福祉協議会のますますの  
ご発展と会員の皆様のご健康、ご活躍を心から祈  
念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

## 第十回 多摩区社会福祉大会

平成三十年二月十四日(水)多摩市民館二階大ホ  
ールにて多摩区社会福祉大会が開催されました。

- ◆第一部 記念式典  
地域活動貢献者、多額寄付者への感謝状の贈呈
- ◆第二部 記念映画上映  
「くちづけ」



上映作品について  
知的障害者たちの自立支援のためのグループホ  
ムで暮らす娘と、彼女に無償の愛を捧げる父親との  
深い愛の物語を描く感動作。

## 第六十八回 社会を明るくする運動開催

平成三十年八月十九日(日)世喜会館にて「青少年  
犯罪と防犯について」をテーマに、多摩警察署職員

による講話と保護司による講話が行われました。



## 賛助会員募集

地域福祉は皆さんのやさしい心に支えられています。  
皆さんからご協力頂いた賛助会費は、地域の福祉活動を  
進めるための貴重な財源として、活用させていただいて  
おります。

賛助会費は一口一、〇〇〇円、何口でもお申し込み頂け  
ます。お申し込みは、民生委員、児童委員、町内会、自  
治会役員にお願いします。

## 稲田地区社会福祉協議会 被表彰者

- 平成二十九年  
川崎市社会福祉協議会会長表彰 関山 泰司  
多摩区社会福祉協議会感謝状 鈴木 久夫
- 平成三十年  
川崎市社会福祉協議会会長表彰 染矢 賢一  
多摩区社会福祉協議会感謝状 関山 仁

## 平成三十年 共同募金

年末たすけあい募金 一、八六八、六六〇円  
赤い羽根共同募金 二、四九六、〇一一円  
皆様の善意の募金、ありがとうございました。



## 《稲田地区社会福祉協議会》

1. 人口(世帯数) ※平成30年9月現在	41,657人 (21,358世帯)
2. 老年人口率(65歳以上) ※平成30年9月現在	8,003人 (19.21%)
3. 年少人口率(15歳未満) ※平成30年9月現在	4,925人 (11.82%)
4. 設立年月	平成元年7月
5. 総予算額 (平成29年度決算額)	3,123,749円
6. 対象地区	宿河原・長尾・堰
7. 主な拠点・活動 場所	長尾老人いこいの家、 福祉バルたま、長尾 こども文化センター、 宿河原会館

## 編集後記

稲田社協三十周年記念懇親会(十二月)の記事  
を載せるため、社協だよりの発行が遅れました。  
ご了承ください。

平成三十年は、西日本七月の豪雨、夏の猛暑、  
北海道地震などの自然災害が、日本列島を襲い  
ました。そこで災害時お役立ち情報を紹介しま  
した。いつ、どこで何が起るかわかりません。  
今後もう少し紹介していきますので、参考に  
していただければと思います。

編集者・総務企画部  
染矢 賢一



# 大地震発生！ その時どうする

**1** **まずは自分の身を守る！**

大地震が起きた時に行う、最も大切な行動です。揺れを感じたら、すぐに頭を守るための安全行動を行い、その後の初期消火や避難行動につなげましょう。クッションなどで落下物から頭を守る。テーブルが近くにあれば下に入る。



**2** **周囲の安全確認をする**

揺れが収まり、自分自身の身が安全であれば、近くの人同士で声を掛け合い、お互いの状況を確認しましょう。



**様々な状況に応じた安全行動**

地域によっては、津波やがけ崩れが発生するところもありますので、ご注意ください。

**街頭では**

高い建物や看板の近くでは落下物に注意する。ブロック塀や自動販売機、ガラス窓などから離れる。



**地下街では**

あわてて地上への出口に殺到しないようにする。

※地下街では停電になっても非常灯が点きます。



**人が集まる場所では**

映画館では座席の間に身を隠す。デパートなどでは太い柱に身を寄せる。施設係員の指示に従い、パニックに陥らないよう冷静に行動する。

## 稲田地区社会福祉協議会 創立30周年記念懇親会

稲田地区社会福祉協議会が創立され、平成30年で30周年を迎えました。この記念の年に、基礎を築かれた諸先輩の方々の偉業に対し感謝の意を表すとともに、今後の発展を期することを目的に、創立30周年記念懇親会を開催しました。

日時：平成30年12月10日 会場：宿河原会館  
出席者：会長、役員、民生委員、保護司等の社協メンバー、地域見守り支援センター、登戸・宿河原地域包括の職員等50名（会費制）



## 第29回 地域福祉のつどい

平成30年3月21日(水) 稲田小学校体育館にて

稲田地区の住民が一堂に会し「地域福祉」について考える場、及び団体での日頃の活動成果の発表の場として地域福祉のつどいを開催しました。

式典：主催者あいさつ、来賓のことば  
発表：稲田小学校合唱クラブ、稲田中学校チアダンス部、その他 唄、踊り、おはやし等20団体  
参加者：約300名

